

阪南市DV根絶宣言

阪南市では、一人ひとりの違いを認め合い、互いの人権を尊重し、すべての人がいきいきと安心して暮らせる「人権が尊重されたまちづくり」をめざしています。

しかしながら、昨今は、安心を脅かし、身体や心を傷つけ、命まで奪うことさえあるドメスティック・バイオレンス（DV）をはじめ、子ども・障がい者・高齢者等への虐待による被害が後を絶ちません。

DVは、人を暴力によって支配する行為であり、人間の尊厳を著しく傷つける重大な人権侵害行為です。被害者・加害者の性別や間柄を問わず、いかなる理由があろうとも、決して許される行為ではありません。

DVは、特定の人だけにかかわる問題ではなく、すべての人に関係する重大な社会問題です。このため、根絶には、市民一人ひとりの決意と地域全体の結束が不可欠です。

阪南市は、DVをはじめとするすべての虐待に終止符を打つために、市民と協働し積極的に根絶に取り組むことを決意し、ここに宣言します。

平成二十四年十月十三日

阪南市長

福山敏博

